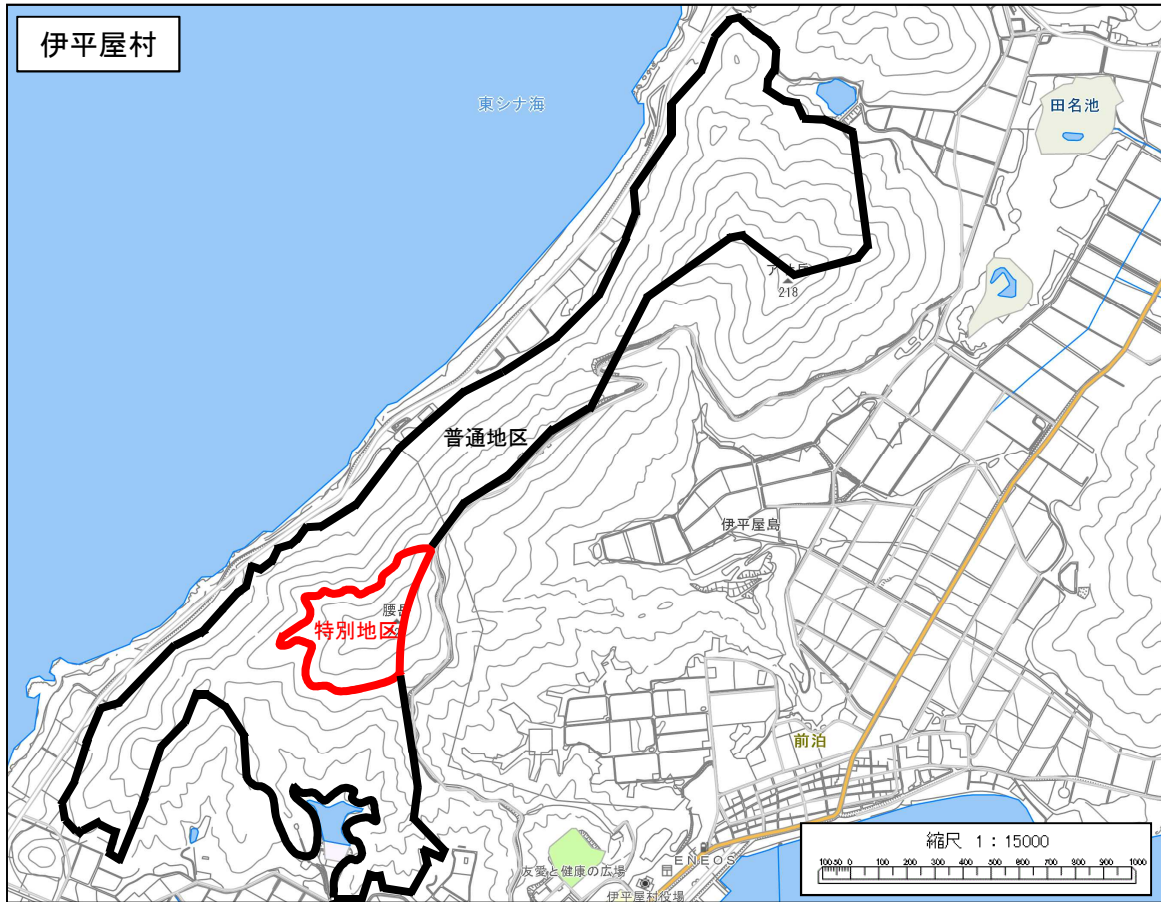


腰岳自然環境保全地域



指 定 : 昭和55年10月6日
位 置 : 島尻郡伊平屋村有林
面 積 : 63.27ha
(特別地区6.84ha 普通地区56.43ha)



(指定理由)

本地域は、アサ岳から腰岳に至る伊平屋島の中央部を形成する山塊に発達する自然植生である。

稜線にはリュウキュウマツの天然更新林も見られるが、アサ岳の斜面、腰岳の尾根部にはビロウが混在するイタジイ林の発達が見られる。このようなイタジイ林は他の島では余り見られず貴重な群落である。周年季節風に直交する様な形で北東から南西に延びている伊平屋島の形状とも関係があるものと考えられるが、植物社会学上貴重な群落であり、学術的にも価値が高い。

また、南方系の植物で伊平屋島を分布の北限とするイヘヤヒゲクサ、ヤナギバモクマオ、テンニンカなど、更に分布の南限と考えられるサワオグルマなども分布し、生物地理学上重要な地域である。